

1. 件 名：日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和4年12月13日 10:00～10:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所放射線管理部環境監視課長 他4名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から同機構核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明が資料1に基づきなされた。

- ・モニタリングポストの更新工事に伴い、測定範囲（低レンジの一部）が変更となること。工事の間は代替措置で計測を継続すること。
- ・低レンジ検出器で測定範囲から除外される部分は、高レンジ検出器での測定範囲に従前から含まれている部分であり、全体の測定レンジに影響はないこと。
- ・修正時期は、原子力規制庁による放射線測定設備に関する検査を受検し、合格した後とすること。

原子力規制庁から当該修正によるERSSの変更対応については、当庁情報システム室に相談することを伝え、日本原子力研究開発機構から、今回の指摘を踏まえて対応するとの回答があった。

また、日本原子力研究開発機構から、原子力事業者防災業務計画の修正については、EALの変更等、他の項目も予定しており、それらについては改めて説明を行いたいとの申し入れがあった。

原子力規制庁から、準備が出来たら説明を行うよう伝えた。

6. その他

配布資料：

【資料1】モニタリングステーション及びポストの更新について
(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)